

平成30年度 第3回生駒市環境マネジメントシステム推進会議 記録要旨

- 1 日時 平成30年7月25日（水）午前9時30分から正午まで
- 2 場所 生駒市コミュニティセンター 文化ホール
- 3 出席者
 - 生駒市環境マネジメントシステム推進会議委員
青木委員、奥田委員、楠下委員、楠委員、小宮山委員、桜井委員、寒川委員、
新海委員、杉山委員、寺内委員、中畑委員、藤村委員、宮崎委員、矢田委員
 - 事務局
大窪環境モデル都市推進課課長補佐、天野環境モデル都市推進課主幹、藤村
大熊地球温暖化対策係長、竹田、鈴木
- 4 会議の要旨
 - 事務局より配布資料等の確認
 - ・ 会議次第
 - ・ 資料1「本日の作業の流れ」
 - ・ 資料2「環境マネジメントシステム推進会議における貴所属取組への評価結果について（案）」
 - ・ 資料3「環境マネジメントシステム推進会議における貴所属取組へのコメントについて」
 - ・ 資料4「過去の優良事例一覧表」
 - ・ 生駒市環境マネジメントシステム推進会議 ご意見シート
 - 「本日の作業の流れ」について説明（資料1）

各班ヒアリング終了後、班別ミーティングを行う。①ヒアリング先に対する本評価及びコメントを決定する。②優良事例を抽出する。③ヒアリング先を除く全所属に対するコメントを確認する。最後に、ヒアリング先の本評価及び抽出した優良事例について、それぞれ各班から発表してもらう。
 - 各班の発表（ヒアリング先の本評価及び抽出した優良事例）
 - ・ 1班
ヒアリング先本評価： 「いこまの魅力創造課」帳票3が○から◎へ変更
(理由) 情報発信が本来業務であるが、環境に関する情報を積極的に発信したこと。

優良事例：

①「小平尾南スポーツ施設」

(理由) 菜の花育成とたい肥作りで、農家や子どもたちと一緒に地域循環の仕組みをつくったこと。

②「生駒中学校」

(理由) 制服、体操服、シューズのリユースに取組み、桜ヶ丘小学校とも連携してリユースを推進したこと。

クリーンキャンペーンも地域住民と年2回実施した。

③「いこまの魅力創造課」

(理由) 会議テーブルに設置したディスプレイを使つてのペーパーレス会議の実施や環境情報を随時SNSに発信したこと。

・2班

ヒアリング先本評価：「あすか野幼稚園」と「生駒小学校」の帳票3別紙の評価が
○から◎へ変更

(理由) 帳票3別紙の回答で「実施しない」と「該当しない」の回答の取違により、かさ上げになったもの。

優良事例：

①「環境モデル都市推進課」

(理由) 新規に市民団体と協働でフードドライブに取り組み、食品ロス削減を推進したこと。

②「あすか野幼稚園」

(理由) 保護者への一斉メールを配信して、確実かつ速やかに情報を伝達することで、ペーパーレス化を図っている。なばた幼稚園も同様に取り組んでいるので確認のうえ追加するか決める。

③「消防本部消防署」

(理由) 弁当容器の回収を出入り業者に要請し50%以上達成していることなど。

・3班

ヒアリング先本評価：①「農林課」と「商工観光課」の帳票2の評価が
×から△へ変更

(理由) 農林課が学校給食センターと連携して、地元野菜を使用した地産地消の取り組みを進めたこと。また、商工観光課では、環境に配慮した自転車マップを作製配布して啓発を行ったこと。

③「大瀬中学校」の帳票3評価が○から◎へ変更

(理由) 職員会議資料配布はすべてメールで行い、ペーパーレス会議を行っている

ことや家庭への連絡についても、メールで配信されるなどの紙の使用量の削減を図ったこと。

④ 「消防南分署」の帳票 3 評価が○から△へ変更

(理由) 改善されているとの所属評価であったが、数値的な把握がなかったため。

優良事例：

① 「あすか野小学校」

(理由) 児童数が 1,000 名を超えるマンモス校で「学校だより」を保護者にメールで送り、年 9 回で 9,000 枚の紙の削減につなげたことや職員の会議資料のペーパーレス化を図り、独自の工夫と大きな成果を挙げていること

② 「大瀬中学校」

(理由) 机の汚れをティッシュペーパーで拭取って、一人当たり 3 から 4 パック使用していたが、生徒の椅子に雑巾をつるすことで、雑巾 1 枚で紙ごみの排出を抑え、独自の工夫を凝らした新しい取組を実施していること。

③ 「環境保全課」

(理由) エコクッキング教室で食材を無駄なく使い、食品ロスをなくす取組をしていることや生ごみを削減するためのキエーロの普及促進に努め、将来的には生ごみ削減に向けて、広域的に他市との連携も視野に入れた取組を進めていること。

・ 4 班

ヒアリング先本評価： 評価変更なし。

「生駒駅前図書室」は、年度毎に大量の廃棄本が発生する。その処理として、幼稚園、保育園に廃棄図書の利用確認をし、図書室の入り口に廃棄図書常設コーナーを設け、市民に提供し、廃棄図書をゼロとした。この取り組みは生駒駅前図書室に限らず他の図書室でも取り組まれているので、あえて優良事例から外した。

「テレワーク&インキュベーションセンターイコマド」は、初監査にもかかわらず努力されていると感じた。「優楽」は担当者が変わったこともあり、環境への取組があまり見られなかった

優良事例：

「総務課」

(理由) 従来の紙ごみはシュレッダーに掛けていこま紙にしていたが、個人情報に係る書類に関して焼却処理していた書類を溶解処理で紙をリサイクルする新たな取り組みをはじめたこと。

・ 5 班

ヒアリング先本評価： 「下水道課」の帳票 3 別紙の評価が○から◎へ変更

(理由) 「実施していない」と回答していたが、ヒアリングで再度確認すると「実施している」に変更になった項目がいくつかあり、評価が変更になったもの。

優良事例：

①「エコパーク 21」

(理由) 500ml ペットボトルの使用を禁止して、年間 600 本のペットボトルを削減。これを二酸化炭素排出量に換算して評価の見える化を図り、職場で共有されたこと。

②「スポーツ振興課」

(理由) 4 業者で 9 箇所のスポーツ施設の指定管理を行っているが、契約締結時に環境マネジメントシステム (エコオフィス) の取組を提案させて、年度更新時にチェックを行い、提案内容の進行管理を行ったこと。

○ 各班の本評価及び優良事例発表に対する意見聴取

- ・ メール配信事例を優良事例とする報告があったが、この例は 3 年前のヒアリングで聞いたことがあり、新しい取組とは言えないが、過去の優良事例として記載がない。この場合、新事例として取り上げるべきなのか。
- ・ あすか野小学校を優良事例として選んでいる。エコ推進責任者が、メール配信を利用することで紙媒体の連絡を減らすことを目標とし、紙の削減量を明確に把握しているため、素晴らしい取り組みとして、独自の工夫と大きな成果を挙げているという 2 点から優良事例としてあげた。しかし、他の学校等で前例があれば新しい取組事例としての選定理由は取り下げる。
- ・ あすか野小学校のメール配信については、新しい取組ではないが、工夫があり、成果があることを鑑みると、優良事例となりうる。問題は、あすか野幼稚園で選定理由が新しい取り組みのみであり、他で前例があるので、新しい取り組み事例であっても他部署で実施されている場合は、新しい取組という理由だけでは優良事例とはならない。
- ・ 今の意見の通りと思うので、2 班のあすか野幼稚園に関しては新しい取り組みというよりは成果を挙げている点から事務局で実績を確認して、その結果を 2 班で協議して決定する。
- ・ 単に実績だけを確認して追求するのではなく、成果があがっていたり、独自の取り組みと判断されれば、合わせ技として選定理由として挙げてもらいたい。
肝心なのは、評価の仕方としてどれだけいい部分を取り込めるのかである。聞き取りをもう一度行って、それならばいい結果が出ていると 2 班で合意が図れるならば、優良事例として取り上げてほしい。
- ・ 再度事務局で、あすか野幼稚園に確認を取り、2 班で情報共有を図り、あすか野幼稚園を優良事例にとり挙げるかを検討する。また、消防本部消防署の弁当容器の回収については、寿司桶やどんぶり等の回収のことで、プラ容器の回収はしていないことを確認し、2 班委員の了承のもと、優良事例から取り下げた。

次年度に向けて、改善すべき点等、気づいた点がございましたら、ご意見シートにて意見をもらいたい。

今後の予定

8月21日（火）に環境マネジメントシステム推進会議専門チームを開催し、「平成29年度数値目標の達成状況」と「平成30年度の目標値の設定」について、検討する。それらを受けて、監査報告書（案）を作成し、環境マネジメントシステム推進会議 会長・副会長に確認していただいたうえで、各所属へフィードバックを行う。確認については、会長・副会長に一任ということで委員の了承を得た。

終了解散